

令和4年度年間指導・評価計画

教科	美術	学年	第1学年	担当	中島 真紀
----	----	----	------	----	-------

【教科の目標】

- 対象を見つめ感じ取る力や想像力を高め、豊かに発想し構想する能力や形や色彩などによる表現の技能を身に付け、意図に応じて創意工夫し美しく表現することができるようにする。
- 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさとの調和、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。
- 楽しく主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を養う。

【年間指導計画】

学期	月	単元・題材	学 習 活 動
1 学 期	4 5	○オリエンテーション	・ 作品を鑑賞し、中学校の「美術」への興味や関心を高める。 ・ 美術の学習内容を知り、図画工作からの発展性を感じ取ることで、学習への見通しを持つことができるようにする。
		○スケッチ	・ スケッチについて知り、鉛筆の持ち方やタッチ、明暗を表す表現を学ぶ。鉛筆などの単色の描画材で身の回りのものをスケッチする。
		○「静物画」絵画	・ 対象を見つめ、形や色彩の美しさなどを感じ取り、心豊かに表現する構想を練りながら表す。 ・ よさや美しさを味わいながら自他の作品を鑑賞する。
	6 7 8	○絵文字デザイン	・ レタリングの基礎・基本を学び、文字の意味から形を考えたり、色をイメージしたりしながら、創意工夫して表現する。 ・ よさや美しさを味わいながら自他の作品を鑑賞する。
	9 10	○鑑賞	・ 作品の鑑賞をし、造形作品のよさや美しさ、特徴について興味や関心を高める。 ・ 造形作品における特徴や工夫などについて気づき、自分の考えをまとめ発表する。
2 学 期	10 11 12	○そっくりにつくろう	・ 野菜などの食材やスイーツなど立体作品をつくる。 ・ スケッチをして、粘土で形をつくり、絵の具等で彩色する。 ・ 素材の特性を生かし、資料等をよく観察して本物そっくりに作品をつくる。
	1 2 3	○自分のマークをつくろう	・ ゴム印で自分のマークのスタンプをつくる。 ・ 形や色彩の構成などを工夫し、制作の手順を考えて模様を作ることができる。

＜注意＞ 「月」は実施予定の時期を表します。都合により順番を入れ替えたり、他の題材と組み合わせたりして学習する場合があります。

【評価の方法】

評 価 の 対 象	思考・判断・表現	知識・技能	主体的に学習に 取り組む態度
授業の態度・準備物・自己評価			○
制作や授業での観察	○	○	○
アイデアスケッチ・構想や感想の発表	○	○	○
作品（制作の途中経過・提出状況も含む）	○	○	○
鑑賞レポート・感想等の発表	○		○

【学習アドバイス】

- ・教科書や美術資料，絵の具，クロッキーブックなど，使用する準備物を忘れないようにしましょう。
- ・資料プリントや返された作品などは，クロッキーブックの左側のページに貼っておきましょう。
- ・授業中は無駄話などをせず，集中して一生懸命制作に取り組みましょう。
- ・制作途中で先生に確認してもらい，よりよい作品にするためのアドバイスをもらいましょう。
- ・制作が遅れてきた場合は，許可を得た上で自宅制作等をして遅れを取り戻しましょう。
- ・鑑賞では，進んで自分の考えを発表しあい，お互いの考えや感じ方を共有しましょう。

令和4年度年間指導・評価計画

教科	美術	学年	第2学年	担当	黒田幸美・高橋良幸
----	----	----	------	----	-----------

【教科の目標】

- 対象を深く見つめ感じ取る力や想像力を一層高め造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表現することができるようにする。
- 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- 主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

【年間指導計画】

学期	月	単元・題材	学 習 活 動
1 学 期	4	○オリエンテーション	・ 美術が生活や社会への提案をし、豊かでよりよい生活を営む上で大切な学びであることに気付く。美術から広がる職業、美術の学びを仕事で役立てることなどについて理解する。
	5 6 7 8 9	○風景画	・ 身近な風景を新たな視点で見つめ直し、感じ取ったイメージを表すことに興味や関心を持つとともに、光の感じや空間の広がり、奥行きなどを表す方法を知り、制作に取り入れるよう構想を練る。 ・ 描画材料を選んだり表現方法を工夫したりして、表したいイメージを効果的に表す。
	9	○鑑賞	・ 西洋と東洋の違いとその接点について学ぶ。 ・ 印象派と日本の絵画の共通点について学ぶ。
2 学 期	10 11 12	○光と影の世界	・ 黒い画面にスクラッチして立体的に表現する方法を学び制作する。 ・ 光と影について意識することにより立体的な表現を学ぶ。
	1	○鑑賞	・ 名画の鑑賞を通して、作者の意図と工夫を読み取り、作者の心情などを感じ取る。
	1 2	○名画から学ぶ	・ 作品を鑑賞し表現技法などについて調べ、名画を模写する。 ・ 名画の良さを味わいながら、筆使いや混色を工夫する。 ・ 額縁を制作する。素材の特徴を生かし、模様や配色を考え、伝統的な技法などの特性を生かして表現する。
		○鑑賞	・ 発想の転換で人々の生活に役に立つ美術の働きについて話し合う。
	3	○ピクトグラム	・ 伝える内容を単純化して表すピクトグラムを制作する。

＜注意＞ 「月」は実施予定の時期を表します。都合により順番を入れ替えたり、他の題材と組み合わせたりして学習する場合があります。

【評価の方法】

評 価 の 対 象	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度
授業の態度・準備物・自己評価	○		○
制作や授業での観察	○	○	○
アイデアスケッチ・構想や感想の発表	○	○	○
作品（制作の途中経過・提出状況も含む）	○	○	○
鑑賞レポート・感想等の発表	○	○	

【学習アドバイス】

- ・教科書や美術資料，絵の具，クロッキーブックなど，使用する準備物を忘れないようにしましょう。
- ・資料プリントや返された作品などは，クロッキーブックの左側のページに貼っておきましょう。
- ・授業中は無駄話などをせず，集中して一生懸命制作に取り組みましょう。
- ・制作途中で先生に確認してもらい，よりよい作品にするためのアドバイスをもらいましょう。
- ・制作が遅れてきた場合は，許可を得た上で自宅制作や居残り制作をして遅れを取り戻しましょう。
- ・鑑賞では，進んで自分の考えを発表しあい，お互いの考えや感じ方を共有しましょう。

令和4年度年間指導・評価計画

教科	美術	学年	第3学年	担当	中島 真紀
----	----	----	------	----	-------

【教科の目標】

- 対象を深く見つめ感じ取る力や想像力を一層高め造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表現することができるようにする。
- 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- 主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

【年間指導計画】

学期	月	単元・題材	学 習 活 動
1 学 期	4	○オリエンテーション	・ 美術が生活や社会への提案をし、豊かでよりよい生活を営む上で大切な学びであることに気付く。 ・ 一年間の美術の学習内容を知り、学習への見通しを持つことができるようにする。
	5 6 7 8	○自画像	・ 自分の姿と対峙し、自己分析を行い、自己理解を深め、自分を知るとともに、自己分析により自己をどのように表すか構想を練り、主題を決める。 ・ 構想を生かすために表現方法を工夫して表す。 ・ 基礎的な鉛筆の表現を生かしたり、様々な技法を工夫したりして制作する。 ・ 人物の描き方を学ぶ。
	9 11	○鑑賞	・ 美術作品から、時代背景や作者の心情を読み解く。作品について、よさや美しさ、特徴などを感じ取ったことを発表し合い、互いに考えを共有し広げる。（「ゲルニカ」「仙台・神戸こども絵画交流展」の作品等の鑑賞）
2 学 期	10 11 12 1	○篆刻	・ 篆刻について学び、自分の印をつくる。 ・ 篆書体などでデザインを考え、石を彫ったり、削ったりして形をつくり出し、個性的で美しい作品を制作する。
	2 3	○メッセージカード	・ 友達や家族にメッセージカードをつくる。 ・ 中学校生活を振り返り、内容を考え、レタリングやモダンテクニックを組み合わせ制作する。

＜注意＞ 「月」は実施予定の時期を表します。都合により順番を入れ替えたり、他の題材と組み合わせたりして学習する場合があります。

【評価の方法】

評 価 の 対 象	思考・判断・表現	知識・技能	主体的に学習に 取り組む態度
授業の態度・準備物・自己評価			○
制作や授業での観察	○	○	○
アイデアスケッチ・構想や感想の発表	○	○	○
作品（制作の途中経過・提出状況も含む）	○	○	○
鑑賞レポート・感想等の発表	○		○

【学習アドバイス】

- ・教科書や美術資料，絵の具，クロッキーブックなど，使用する準備物を忘れないようにしましょう。
- ・資料プリントや返された作品などは，クロッキーブックの左側のページに貼っておきましょう。
- ・授業中は無駄話などをせず，集中して一生懸命制作に取り組みましょう。
- ・制作途中で先生に確認してもらい，よりよい作品にするためのアドバイスをもらいましょう。
- ・制作が遅れてきた場合は，許可を得た上で自宅制作や居残り制作をして遅れを取り戻しましょう。
- ・鑑賞では，進んで自分の考えを発表しあい，お互いの考えや感じ方を共有しましょう。